



農地や農業用施設が被災したら早めの連絡をお願いします

夏から秋にかけての季節は台風や局地的な大雨など、天災による被害が危惧されます。被害の規模によっては、災害復旧事業に国からの補助が受けられる場合があります。

今後、農地や農業用施設が被災されましたら、7日以内に下記までご連絡ください。

- ・農業用施設（農道、ため池、水路など）の被害
- ・農地（田、畑など）の被害

【連絡先】

JA 神戸北資産管理センター

FAX: 583-4309 TEL: 583-4310

水稲共済の被害申告について

イノシシ等の獣害や病虫害及び台風や大雨等により、全耕地の基準収穫量に対して減収量の合計が2割を超える減収、または1筆につき5割を超える減収が見込まれる被害が発生した場合は、農会長を通じて下記の連絡先までご連絡をお願いします。

被害ほ場の刈り取りが終わっていると評価ができませんのでご注意ください。

【連絡先】

ONOSAI ひょうご神戸事務所 (Tel: 220-0044)

○北農業振興センター (Tel: 982-2811)

あなたの街に KOBE マイナカーが伺います。

- 1 神戸市民5名以上からお申し込み可能
- 2 マイナンバーカードの申請ができます。
- 3 写真撮影無料
- 4 神戸市民の方は持ち物が揃っていればカードはご自宅へ簡易書留でお送りします。詳細はこちら



神戸市マイナンバーカードコールセンター

☎078-600-2910 (9時~20時)

新鉄砲ゆり(早生・中生の部)の立毛共進会が開催されました

7月29日(金)に淡河町特産品として広く知られている新鉄砲ゆりの立毛共進会が開催されました。今年の作柄は、高温の影響を受け生育が前進傾向になりましたが、需要の多いお盆に向けて優れたユリが全国に出荷されました。

9月に実施される「晩生の部」の結果と併せて賞が決定される予定です。



山田菊品評会が開催されました

8月3日(水)にJA山田支店にて山田菊の品評会が開催されました。

コロナ等の影響で花の需要が低迷する中で農家の皆さんの努力により優れた出品がありました。稽古花で知られる「二輪子」をはじめ、

一輪菊や小菊などが出品され、系統特性、バランス、病害虫の有無などを基準に審査されました。



農地集約をすすめる「地域計画」を策定しましょう

国の法改正により、地域内農地の将来を具体的に描くために「地域計画」(旧:人・農地プラン)を策定することが義務化されます。背景には、農家の減少や耕作放棄地の拡大を食い止めるために、農地を集約し、新たな担い手を確保するなどのねらいがあります。

「地域計画」とは、農地一筆ごとに将来の利用を特定し、農地の貸し借りの意向などを見える化した「目標地図」を柱に、「人・農地プラン」を一步進めた形のもので、地区(集落等)ごとに策定します。

今後、集落などの地域単位で話し合いを行い、関係法が施行される令和5年4月から2年以内に策定する必要があります。

詳細については、順次広報します。

(問) 西・北農業振興センター・市農業委員会